

# 西荒屋小学校だより

## 学校評価号

校訓「至誠」

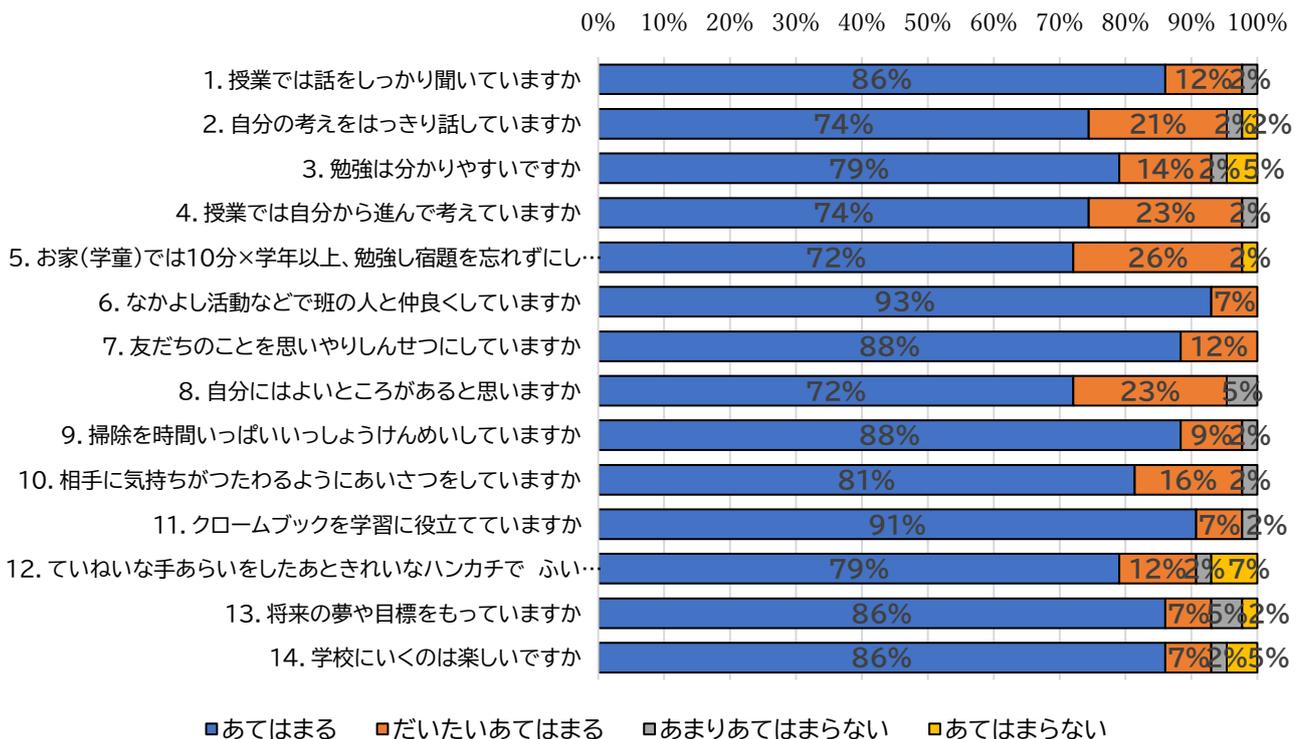
教育目標「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

令和6年9月13日 西荒屋小学校

### 前期学校評価アンケート結果について

保護者の皆さまには、ご多用の中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。  
前期の児童アンケート・保護者アンケート結果を以下のとおりご報告いたします。

#### 令和6年度前期児童アンケート



#### ◎肯定的評価の割合が高い項目(A評価が80%以上になっている項目)

・「授業では話をしっかり聞いていますか」の項目が **A 評価86%**となっています。「聞くこと」は相手とのコミュニケーションを図る上で大変重要なスキルです。話の内容を理解するのはもちろんですが、話し手を尊重するということにもつながります。話すことが苦手な児童にとって、聞き手が一生懸命聞いてくれたり、頷きながら聞いてくれたりすることで安心して表現できるようになります。クラスの温かい人間関係の醸成にもつながります。学校では、授業中はもちろん朝の会や帰りの会、学級活動の時間など様々な場面を捉えて「聞くこと」の大切さについて子供達に指導しています。今後も指導を継続していきます。

・「なかよし活動などで班の人と仲良くしていますか」の項目が **A 評価93%**と大変高くなっています。本校のよさは、児童数が少なく児童一人一人がお互いをよく知っていることです。児童自身も本校のよさとして認識しているところです。それが大変よく現れている結果だと思います。今後も児童がお互いを認め合い、良好な人間関係がより深まるような活動を工夫し取り組んでいきます。

・「友だちのことを思いやり親切にしていますか」の項目が **A 評価88%**となっています。道徳科の授業を中心に一年を通して「個性の伸長・思いやりの心を育む学級経営」を学習の基盤とし、様々な場面で子供達の個性を伸ばし、思いやりの心が醸成されるよう取り組んでいます。学校行事や児童会行事を実施した際、「にしっこシート」にふりかえりを書かせ、子供達の文章の中で「親切・思いやり」について記載があると必ず価値づけるようにしています。それらの取組の成果のあらわれであると考えます。

・「そうじを時間いっぱい一生懸命していますか」の項目の **A 評価が88%**でした。本校は進んで働

く児童が多く見られます。勤労意欲の高い児童です。清掃などの当番活動や係活動等を通して、自己の役割や協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要なことについて主体的に考えて行動する力がついているということが言えます。これからも「みんなのために」「誰かのために」進んで働くことができる児童を育てていきたいと思っています。

・「相手に気持ちが伝わるようにあいさつをしていますか」の項目の **A 評価が81%**でした。昨年度は76%でしたから、大幅に A 評価が増えました。挨拶については昨年度までも地域の方からお褒めをいただいたことがありましたが、子供達自身「できている」と思えるようになったと言うことであろうと思います。自身を俯瞰し、自分自身を的確に評価できる児童になってほしいと思います。

・「クロムブックを学習に役立てていますか」の項目の **A 評価が91%**となっています。一人一台端末の整備がなされて4年目です。本校児童はすでに自在に使いこなしています。教職員も、授業の中での効果的な活用方法についてさらなる研修を進めているところです。ただし、クロムブックにも他の学習道具と同じように、向き不向きがあります。クロムブックを使うと効果的な場面があれば、そうではない場面もあるということです。今後は、何でもかんでもクロムブックを使うと言うよりは、児童の主体性を育む上でも、学習者自身が学習道具の一つとして課題解決に向け選んで使っていき姿を目指していきたいと考えています。

・「将来の夢や目標をもっている」の項目が **A 評価86%**と大変高くなっています。道徳科を中心に全ての教育活動を通して「個性の伸長」「親切・思いやり」を育む取組を行ってきました。年間を通した児童の心を耕す取組が、自分自身のよさの発見につながり、「将来、こんなふうになりたい」「自分のよさを生かしたい」と思えるようになったのではないかと考えます。今後も道徳科の授業を中心に児童自身のよさについて自らが気づいていけるような取組を行っていきます。

・「学校に行くのが楽しい」の項目が **A 評価86%**と大変高くなっています。何よりも嬉しい評価です。しかしながら7%の児童が否定的な評価をしており、それらの児童へのケアの必要性を感じます。一人一人の児童に目を向け、どの児童も伸び伸びと学校生活を送ることができるよう、一層努力して参ります。

## ■肯定的評価が低い項目

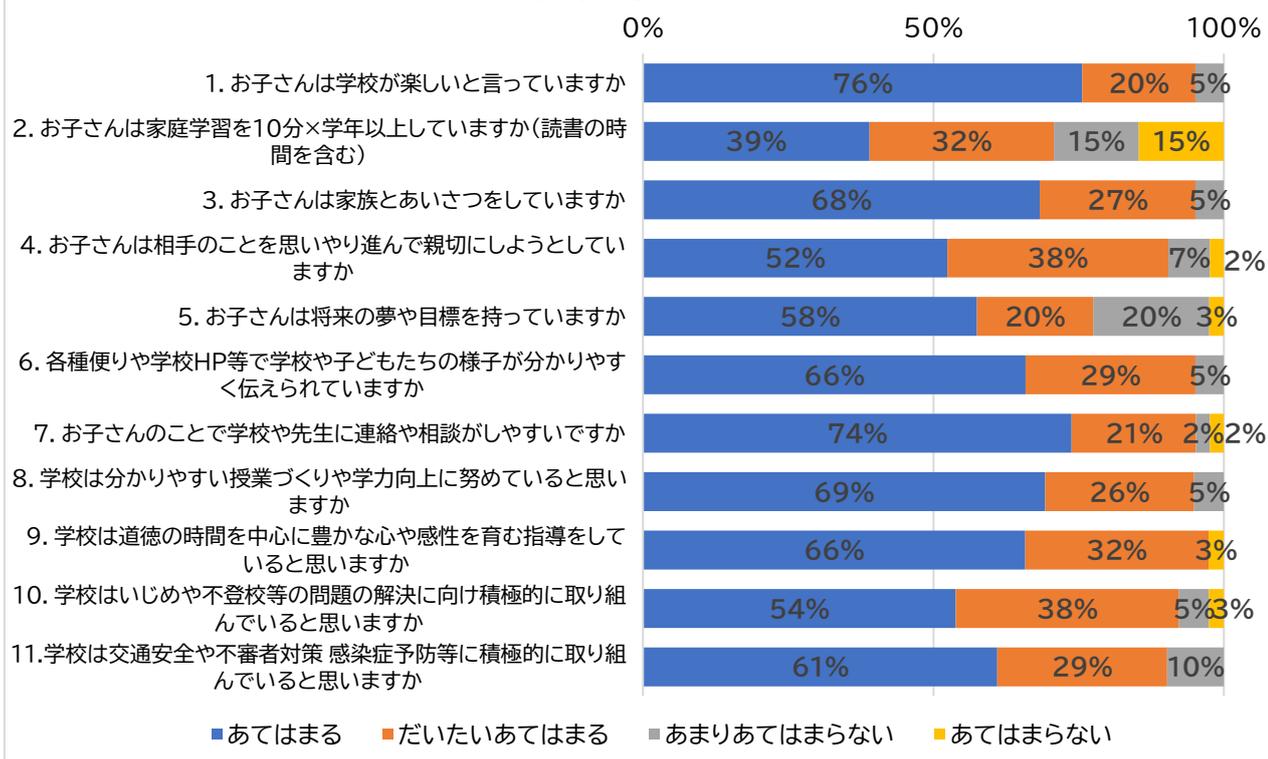
今年度も前期結果では、A評価+B評価で90%未満になっている項目はありませんでした。児童が、学校生活を前向きに捉えていることは、とても嬉しいことです。

しかし、「自分の考えをはっきり話している(A 評価74%)(昨年度前期64%)」「自分にはよいところがある(A 評価72%)(昨年度前期72%)」の項目については、昨年度調査同等あるいは若干向上しているものの、まだ自分に自信が持てなかったり自己肯定感が十分感じられなかったりする姿も見られます。今後、より一層一人一人の児童のよさに目を向け「褒め、認め、価値づける」ことを大切に、自己肯定感を高められるよう努めていきます。

また、「お家では10分×学年以上勉強し、宿題を忘れずにしている(A 評価72%)(昨年度前期74%)」の項目は、若干減少しています。震災による環境の変化、生活リズムの変化等考えられますが、学習の定着を図る上で家庭学習は非常に重要です。学校で学んだことを繰り返し学習することで定着していきます。「わかったつもり」ではなく本当の力とするためにも、家庭学習は是非習慣化させてほしいところです。

「授業では自分から進んで考えている(74%)(昨年度なし 新項目)もやや低い評価となっています。今年度の本校の研究主題は「生き生きと表現し、主体的に学ぶ子」です。これからの時代を生きていく子供達には「主体性」「自ら進んで課題を解決する力」が必要です。子供達の「主体性」を大切に様々な取組を行っていきます。

## 令和6年度前期保護者アンケート



◎肯定的評価の割合が高い項目(A評価+B評価で95%以上になっている項目)  
 ※大変ありがたいことにほとんどの項目において90%を超える評価をいただいています。

・「お子さんは学校が楽しいと言っている(96%)」これは大変嬉しい評価です。言うまでもなく学校は「すべての子供達にとって楽しく過ごせる場所」であることを目指しています。今後も全ての子供達が安心して過ごせる学校づくり、学級づくりを目指していきます。

・「各種便りや学校 HP 等で学校や子供達の様子が分かりやすく伝えられている(95%)」「お子さんのことで学校や先生に連絡や相談がしやすい(95%)」についても、高い評価をいただいています。学校と保護者の皆様とのお子様についての情報共有がうまくできているためであると捉えています。学校と家庭の連携は、子供達の健やかな成長に最も大切な車の両輪であると考えます。今後もこまめな HP の更新、また、より相談しやすい学校を目指し努力して参ります。気になることがございましたらいつでもご連絡ください。

・「学校は、分かりやすい授業づくりや学力向上に努めていると思う(95%)」「学校は道徳の時間を中心に豊かな心や感性を育む指導をしている(98%)」と学習指導の面についても高評価となっています。学力をつけることは学校の大切な使命です。今後も子供達の学力の向上に、また道徳的実践力を高めることに今後も尽力いたします。

・「お子さんは家族と挨拶をしている(98%)」の項目も高い評価となっています。挨拶は最低限の礼儀であり、大人になっても続く大切な習慣です。挨拶ができないと、相手からよくない印象をもたれることもあります。小さなころから挨拶をし、社会性を身につけることは大変重要であると考えます。ご家庭で「挨拶」の習慣が自然に身につくよう、引き続きお声かけをお願いいたします。

## ■肯定的評価が低い項目・気になる項目

・「お子さんは家庭学習を 学年×10分以上していますか(A+B 評価71%)」の項目は昨年度前期より若干評価が落ちています。C 評価+D 評価の割合は3割程度となっています。7割近くの子供達に家庭学習の習慣がついているということが言える一方、3割の子供達にはまだ十分に家庭学習の習慣がついていないということになります。家庭学習が習慣化されれば、学習内容の定着が見込め、より学習に向かう意欲が高まり、好循環が生まれます。家庭学習の習慣付けは、小学校低学年から始めるのがおすすです。小さい頃から家庭学習をすることが当たり前になってしまえば、中学生になっても無理なく勉強ができます。子供達の成長を長い目で見て、学習の習慣をつけてあげられるよう、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。(子供達の評価と保護者の評価に大きな隔たりがあるのが気になりますが・・・)

・「将来の夢や目標をもっている(A+B 評価71%)」の項目については昨年度より大きく評価を下げました(昨年度91%)。震災の影響かとも思われます。保護者の皆様の中にも、先が見えない中でご苦労をされている方が多くおられることと思います。よく言われることですが、目標をもつことで「意識」が変わります。「意識」が変われば「行動」が変わります。つまり「自分をよい方向に変えることができる」というわけです。そして、目標を達成したとき「満足感」が得られます。小さな目標でも大丈夫です。ご家庭でも、子供達が「満足感」「達成感」を味わえるようお声かけをお願いいたします。(こちら、保護者と児童の間に隔たりを感じます)

・「学校はいじめや不登校等の問題の解決に向け積極的に取り組んでいる(92%)」「学校は交通安全や不審者対策、感染予防等に積極的に取り組んでいる(90%)」の項目につきましては高評価ではありますが、昨年度より若干評価を下げています。「いじめや不登校」の問題、「安全対策」共に、子供達の安心・安全を考える上で重要な部分です。子供達が安心して学べる学校となるよう、地域の皆様とも連携しながら努めて参ります。

## ◆ご意見等◆

- 少人数制度をいかした環境作りと、細やかなご指導をお願い致します。
- 意見ではないのですが、バス通学なので子供の運動量が足りているのか気になっています。
- とても楽しく学校生活を送っています。ありがとうございます！
- 小学校の復旧は?鶴小との交流、学童でも壁を感じる。
- 鶴小と西小の児童たちがもっと仲良くなれるような行事などがあるといいなあと思います。
- いつも手厚くみていただきありがとうございます。
- 地震で学校が使えず、鶴ヶ丘小へ移って半年。地震前と変わらない西小の取組は難しいとは思いますが、未来を担う子供たちのために、少しでも西小らしい活動ができるように手伝いできたらと思います。
- 西荒屋小学校の状況は、どうなりましたか？
- 学校環境が変化をし半年が過ぎました。子供たちは現在の環境にある程度の納得をしながら新しい環境に馴染みつつあると思います。そんな中でもところどころでストレスなりなんなりで普段とは違う言動が見られたり、表情がうつらそうにしていたりという様子を見かけるたびに心がぎゅっと苦しくなることがあります。先生方のご尽力はいつも感謝しております。ですが大きく動くためにはもっと広い範囲からの協力体制や行動が必要になってくるのかもしれないと私達保護者も考える機会となったと思える半年でした。
- ご意見、ありがとうございます。震災のため、環境が大きく変わった事による子供達の心のストレス、また、保護者の皆様のご心配もいかに推察いたします。子供達ののびのびとした姿、懸命に様々な活動に取り組む姿、そして子供達の成長が見られることが、職員にとって何よりの喜びです。環境の変化はありますが、少人数という西荒屋小学校の利点を活かし、保護者の皆様の協力も得ながら、より一人一人を大切に「子供が行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」を目指し、教職員一丸となり努力していきます。